

## 5 歯科技工室におけるトレーサビリティについて —歯科技工録の試作—

金安麻未, 佐々木晶規, 横田憲幸, 本間賢司, 山口明日香  
明倫短期大学 歯科技工士学科専攻科 生体技工専攻

keywords : トレーサビリティシステム, 歯科技工録, 技工履歴

### はじめに

平成23年6月, 厚生労働省から「歯科医療における補綴物等のトレーサビリティに関する指針」が出された。明倫短期大学の技工室では, 歯科技工録をとっていない。個々の患者に関する技工履歴を調べるのは難しい状態にある。そこで新たに明倫短期大学の技工室での歯科技工録を試作しトレーサビリティシステムを試行した。

### 製作方法

パソコンに入力する方式の歯科技工録を作成した。基本ソフトは, マイクロソフト社のエクセルを使用した。有床義歯, 歯冠修復, 矯正の3種類テンプレートを製作した。

### 結果

担当歯科医師別に患者を分類した。プルダウンを使用する等の工夫をし, 打ち込みの間違いや負担を減らした。ワークシートは指示書, 補綴装置詳細, 作業管理, 使用材料の4種類にすることにより, 見やすさにも注意した。出力できるように製作した。(図1)

### 考察

歯科技工録をディスプレイ上で製作することにより, 患者情報を短時間で調べることが可能になった。また, 使用材料や作業工程が管理されることによって品質が安定し, より良い歯科技工装置を提供できるものと考えられる。

### まとめ

歯科技工録を使用することにより, 技工室でトレーサビリティシステムが機能していくべきである。今後, 更に良い歯科技工業務を行うことができるように, 実用化することを希望する。

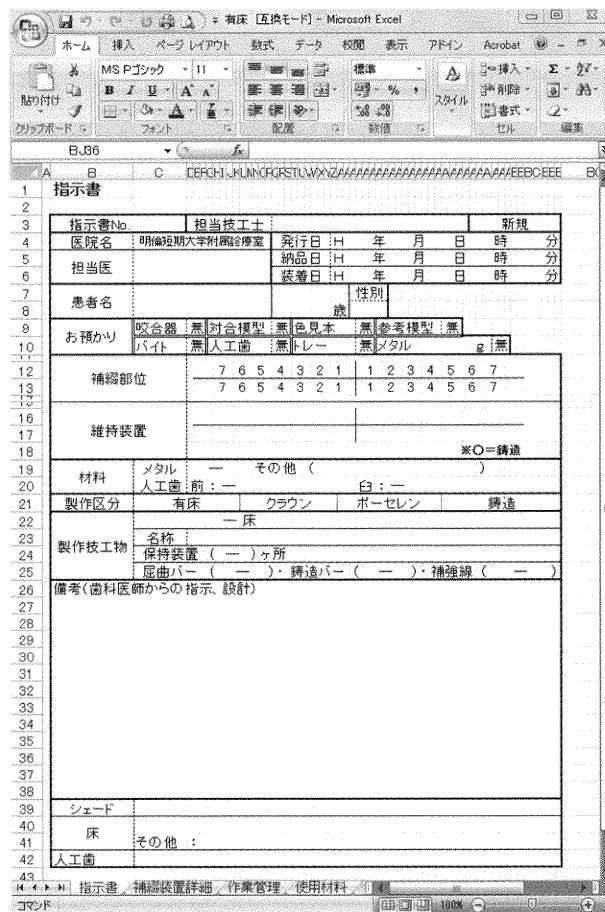


図1. 製作した歯科技工録

(指導教員: 飛田 滋)